



住吉教会 2016 年度テーマ

「いつくしみ深く 御父のように」

—いつくしみの特別聖年—

イエスはその栄光を現された

ペンケレシ神父

カナで婚礼があつて、ぶどう酒が足りなくなりました。イエスはそれを知らされて、「私の時がまだ来ていない」と言いながらも、250 リットルぐらいの水を、今まで出されていたぶどう酒よりも美味しいぶどう酒に変えられました。ヨハネ福音書にある出来事にはいつも隠れた意味があります。

ぶどう酒、お酒は喜びです。「お酒を飲んで嬉しくなる」と言います。イエスはが前よりも美味しいぶどう酒をお与えになったことは、今までよりも大きな喜びをもたらしたことを暗に示しています。洗礼者ヨハネはイエスを「花嫁を迎える花婿」と呼びます。(ヨハネ 3:29) 婚礼のために準備されたぶどう酒は、私たちがこの人生から得られる全ての良いもの、喜び、満足を表しています。それが足りなくなり、満たされないことがあり、最後に死で完全に消えてしまいます。

そこで、イエスは新しいぶどう酒を与えられます。私たち一人一人が神に愛されて、神にとって非常に大事な存在であることを知らせてくださいました。私たちに永遠の命を得させるために十字架の苦しみを遂げました。私たちが利己的で神の愛に心から応えることができないから、聖霊を遣わして私たちの内に神を愛する新しい心をお造りになりました。これは新しいぶどう酒です。神に愛されていることの喜び、「誰も奪い去る」ことがない、永遠に続く喜びです。聖霊が心に住んでおられるので、その愛と喜びは私たちの内にいつもあります。

その愛をまだ実感、体験していなければ、神のその愛を伝える御言葉から、真剣に、熱心に求めてください。「神に従う者に聖霊が与えられる」という約束があるから(使 5:32)、読んだ御言葉に従えば聖霊を与えられ、新しい美味しいぶどう酒、神の愛が、心に湧いてきます。イエスは「規則と戒律」(エフェソ 2:15)や信心ではなく、命をもたらしたに來られました。生きがいと喜びに満ちた命！ この命よりも望ましい大事なものはありません。

教会維持費について

いつも教会維持費へのご協力有難うございます。教会維持費制度は日本の教会固有の信徒の奉仕です。対象は成人以上で 収入のある方です。不安定な収入、年金生活等で困難な方もおられるとは思いますが、教会共同体を支え育てるため 可能な限りのご協力をお願いいたします。

神に感謝

財務チーム